

編修趣意書

教育基本法との対照表

| 受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|-----------|---------------|----------------------------------|----|---------|
| 26-9 | 中学校 | 外国語科 | 英語 | 1・2・3学年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の番号・略称 | 教科書名 | | |
| 38 光村 | 英語733 833 933 | COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE 1 2 3 | | |

I. 編修の趣旨及び留意点

本教科書は、グローバル時代をたくましく生きていく中学生の育成に資するために、以下の方針を掲げています。

英語の力も心も育ち、世界を舞台に生きる力が身につく教科書

- 自然な英語に触れながら、生きた言葉の使い方が学べる
——身近な場面から世界に広がるトピックまで、楽しみながら学習を継続できるように。
- 4技能のバランスがとれたコミュニケーション能力が身につく
——習得した知識を活用しながら、実践的なコミュニケーションの力が身につくように。
- 学習に対するモチベーションが向上する
——生徒が自分と英語との関わりを広げ、英語を使って何かが「できる」実感がもてるように。

II. 編修の基本方針

1 自然な英語に触れられる教科書

- 発話の場面や文脈を大切に、自然な英語の使い方に触れることができる教科書を目指しました。対話文だけでなく、メール・手紙・インターネット（ブログ等）・スピーチ・新聞記事など実際によくある場面を設定しているほか、物語・ノンフィクション・自然科学を題材にした説明文など、多様な文種を教材として取り上げました。

2 生徒の心を育てる教科書

- 本文は、4人の中学生がいろいろな経験や交流を重ねて成長していくストーリーを中心に構成しました。題材としてさまざまな国の人物やトピックを取り上げ、多様な文化やものの考え方に触れられるよう配慮しました。

3 生徒の知的好奇心を伸ばす教科書

- 生徒が英語に関する知識の習得だけでなく、我が国及び他国の文化とその多様性を尊重する態度を養えるよう、読み物や言語活動を通して幅広いトピックに触れられるよう配慮しました。

4 目標設定が明確で、着実に力を伸ばせる教科書

- 各Unitおよび、各学期を目安としたGo for It!には、言語活動を通じて「英語を使ってできるようになる」ための到達目標が設定されており、各校で「CAN-DOリスト」を作成する際の目安となります。

5 すべての学習者が安心して学べる教科書

- すべての生徒が安心して学べる教科書となるよう、特別支援教育およびカラーユニバーサルデザインの観点から、文字の大きさや配置、イラストや図版の配置、紙面デザインや色の明度・彩度などについて、専門家の入念な校閲を経て紙面を作成しました。

Ⅲ. 対照表

〈1年〉

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|--|--|----------------------|
| 目次 〈p.2-3〉 | ○幅広い知識と教養を身に付けることができるよう、「この教科書で学ぶ皆さんへ」と題して、教科書の構成やそれぞれのコーナーの役割を明記した。——【第一号】 | ・p.3 |
| Let's Enjoy English! 〈p.4-17〉 | ○豊かな情操と道徳心を培うきっかけとなるよう、先生や友達と「英語であいさつをする」活動を冒頭に位置づけた。——【第一号】 | ・p.4-5 |
| Unit 1 Hi! 〈p.19-26〉 | ○男女の平等を重んずるとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、日本人の男子中学生Takuとアメリカ出身の女子中学生Tinaの2人を、本文を貫く主人公として設定した。——【第三号・第五号】 | ・p.20-21 |
| Unit 2 At School 〈p.27-33〉 | ○国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、練習課題Try It!で、「空港で外国人旅行者を出迎える活動」や「国際交流祭りのイラストから人物を探す活動」を取り上げた。——【第五号】 | ・p.32-33 |
| Unit 3 The Teachers 〈p.35-42〉 | ○個人の価値を尊重し、自主及び自立の精神を養うために、Unit 導入のStart-Upに「自分が好きな先生の性格を答える活動」を位置づけ、まとめに当たるYou Can Do It!にも「自分の身近な人を紹介する文を書く活動」を位置づけた。——【第二号】 | ・p.35, p.42 |
| Unit 4 On the Way Home 〈p.45-52〉 | ○個人の価値を尊重し、自主及び自立の精神を養うために、Unit 導入のStart-Upに「自分が好きなスポーツや楽器を答える活動」を位置づけた。また、Unitの後ろに置いたGo for It!に「自己紹介をしよう」という教材を位置づけた。——【第二号】 | ・p.45 ・p.54-55 |
| Unit 5 A Summer Festival 〈p.59-66〉 | ○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を養うため、「夏祭り」を話題にして本文を構成した。また、練習課題Try It!に、夏目漱石、樋口一葉など、我が国の文化に貢献した人物の写真を掲載した。——【第五号】 | ・p.59-64 ・p.63 |
| Unit 6 Breakfast Time 〈p.69-76〉 | ○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、練習課題Try It!に、ニューヨーク・シドニーなど、「世界の各都市の時刻を答える活動」を位置づけた。——【第五号】 | ・p.71 |
| Unit 7 Cheer Up, Tina 〈p.79-86〉 | ○生命を尊ぶとともに、健やかな身体を重んずる態度を養うため、「病気で学校を休んだ級友を気遣う」ことを話題にして本文を構成した。——【第一号・第三号・第四号】 | ・p.79-84 |
| | ○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を養うため、練習課題Try It!に、三味線・和太鼓など、古くからある伝統文化を盛り込んだ。——【第五号】 | ・p.83 |
| Unit 8 Band Practice 〈p.97-104〉 | ○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を養うため、練習課題Try It!に、「留学生を歓迎する活動」を位置づけ、囲碁・将棋・おにぎり・みそ汁など、我が国に古くからある文化を例示した。——【第五号】 | ・p.101 |
| Unit 9 Tina's School Life 〈p.107-116〉 | ○我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、「日本の学校の様子をアメリカの友達に伝える」という内容で本文を構成した。——【第五号】 | ・p.107-116 |
| Unit 10 Happy New Year 〈p.121-128〉 | ○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を養うため、「初詣」を話題にして本文を構成した。練習課題Try It!にも、書き初め・雑煮・おせち料理など、我が国に古くからある文化を取り上げた。——【第五号】 | ・p.121-128 ・p.125 |
| Unit 11 Tina and Japan 〈p.131-136〉 | ○我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、「アメリカからの転校生Tinaに、1年間の日本での生活についてインタビューする」という内容で本文を構成した。——【第五号】 | ・p.131-136 |
| まとめと練習 | ○Word Network 1「1年間」では、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を養うため、こいのぼり・月見・門松・ひなまつりなど、古くからある伝統文化を盛り込んだ。——【第五号】 | ・p.24 |
| | ○男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うために、Skit Time 2「電話」では、男女がペアになってスキットをする活動を例示した。——【第三号】 | ・p.77 |
| 付録 | ○幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体を養うため、CLIL「食品と私たちの体」では、家庭科との教科関連を図り、食品と栄養素を話題に設定した。——【第一号】 | ・p.88-89 |
| 巻末付録 | ○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、「You'll Never Walk Alone」など、複数の英語の歌を掲載した。——【第五号】 | ・p.146-148 |

〈2年〉

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---|---|-------------------|
| 目次 (p.2-3) | ○幅広い知識と教養を身に付けることができるよう、「この教科書で学ぶ皆さんへ」と題して、教科書の構成やそれぞれのコーナーの役割を明記した。 ——【第一号】 | ・p.3 |
| Unit 1 Tina's Speech (p.5-12) | ○個人の価値を尊重し、自主及び自立の精神を養うため、練習課題Try It!で、「春休みにしたことを友達と聞き合う活動」や「自分が小学校6年生のときのことを質問し合う活動」などを位置づけた。まために当たる You Can Do It! にも「春休み中の出来事をスピーチする活動」を位置づけた。 ——【第二号】 | ・p.7, 11, 12 |
| Unit 2 Nick Helps a Dog (p.13-20) | ○生命を尊ぶ態度を養うとともに、豊かな情操と道徳心を培うために、「登場人物が傷ついた子犬を助ける」という内容で本文を構成した。 ——【第四号】 | ・p.13-18 |
| | ○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を養うため、練習課題Try It!で、「来日中のアメリカ俳優が日本について話す」課題を設け、その中で和食や茶道などの日本文化を取り上げた。 ——【第五号】 | ・p.17 |
| Unit 3 Plans for the Summer (p.23-32) | ○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、Tinaが「夏休みにニューヨークに行く計画を立て、そのことをニューヨークに住む祖父母に手紙で伝える」という内容で本文を構成した。 ——【第五号】 | ・p.23-32 |
| Unit 4 Taku Gets Lost (p.33-40) | ○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、「ニューヨークを訪れ、そこでさまざまな人に出会う」という内容で本文を構成した。また、我が国と郷土を愛する態度を養うため、まために当たる You Can Do It! では「自分の町の名所を紹介する活動」を位置づけた。 ——【第五号】 | ・p.33-39 ・p.40 |
| Unit 5 Aya's Time in Okinawa (p.55-61) | ○生命を尊ぶとともに、国際社会の平和に寄与する態度を養うため、沖縄の平和祈念公園にある、戦争犠牲者一人一人の名前が刻まれた「平和の礎」を題材に取り上げた。 ——【第四号・第五号】 | ・p.55-61 |
| | ○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を養うため、本文中のイラストで、沖縄の伝統楽器である三線を紹介した。 ——【第五号】 | ・p.60 |
| Unit 6 A Therapy Dog (p.65-72) | ○生命を尊ぶとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うため、「老人ホームや病院を訪問して老人や子どもを慰めるセラピー犬」を題材に取り上げた。同様の趣旨で、まために当たる You Can Do It! では、盲導犬・聴導犬・介助犬の話題を取り上げた。 ——【第二号・第四号】 | ・p.65-72 |
| Unit 7 You Are the Problem (p.81-88) | ○豊かな情操と道徳心を培うとともに、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うため、「けんかをしてしまった友達同士が相手の気持ちを思い、仲直りしようとする」という内容で本文を構成した。 ——【第一号・第三号】 | ・p.81-88 |
| Unit 8 Christmas Concert (p.91-98) | ○豊かな情操と道徳心を培うとともに、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うため、「友達同士が力を合わせて、コンサートを成功させようとする」という内容で本文を構成した。 ——【第一号・第三号】 | ・p.91-96 |
| | ○幅広い知識と教養を身に付けるとともに、自主及び自立の精神を養うために、まために当たる You Can Do It! では、異なる二つの意見を理解し、それを比べて自分の意見を書く活動を位置づけた。 ——【第一号・第二号】 | ・p.98 |
| Unit 9 Goodbye, Min-ho (p.111-116) | ○豊かな情操と道徳心を培うとともに、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うため、「日本を去る韓国人のクラスメートとの別れ」を話題に取り上げ、「友情の大切さ」を考えられる本文内容とした。 ——【第一号・第三号】 | ・p.111-117 |
| まとめと練習 | ○正義と責任を重んじ、主体的に社会の形成に参加する態度を養うために、 Skit Time 1 「道案内」では、外国人旅行者に道を教える活動を例示した。 ——【第三号】 | ・p.42 |
| | ○健やかな身体を養うため、 Skit Time 5 「体調」では、身体の症状を言ったりたずねたりする活動、相手に忠告や提案をする活動を位置づけた。 ——【第一号】 | ・p.123 |
| 付録 | ○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を尊重するために、 CLIL 1 「日本の歴史」では、歴史学習との関連を図り、歴史上の出来事や人物を英語で説明する活動を取り上げた。 ——【第五号】 | ・p.44-45 |
| | ○環境の保全に寄与する態度を養うとともに、他国を尊重し、世界の発展に寄与する態度を養うため、 CLIL 2 「世界の気候」では、世界の都市の位置を調べ、グラフから気温や降水量を知る活動を位置づけた。 ——【第四号・第五号】 | ・p.102-103 |

〈3年〉

| 図書の構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---|---|-------------------|
| 目次 (p.2-3) | ○幅広い知識と教養を身に付けることができるよう、「この教科書で学ぶ皆さんへ」と題して、教科書の構成やそれぞれのコーナーの役割を明記した。——【第一号】 | ・p.3 |
| Unit 1 Video Letter from Min-ho (p.5-12) | ○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、「中学校2年間を一緒に過ごし、韓国に帰ったクラスメートからVideo Letterが届いた」という内容で本文を構成し、異なる文化や暮らしに触れるきっかけとした。——【第五号】 | ・p.5-11 |
| | ○我が国と郷土を愛するとともに、自主及び自立の精神を養うため、まとめに当たる You Can Do It! では「外国の人に日本の中学校のことをどう伝えるか、自分なりに考える活動」を位置づけた。——【第二号・第五号】 | ・p.12 |
| Unit 2 How Do They See Japan? (p.13-22) | ○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、「国際交流イベントに参加している外国人が、日本の国民性や四季、文化や科学技術をどのように捉えているかを知る」という内容で本文を構成した。——【第五号】 | ・p.13-22 |
| Unit 3 Our School Trip (p.23-29) | ○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、自主及び自立の精神を養うため、「修学旅行で京都に行き、グループ行動の日に何をしようか、自分たちで考える」という内容で本文を構成した。——【第二号・第五号】 | ・p.23-29 |
| | ○自主及び自立の精神を養うため、まとめに当たる You Can Do It! では、「例を参考にして、自分の経験をスピーチする活動」を位置づけた。——【第二号】 | ・p.30 |
| Unit 4 A Guest from Cambodia (p.45-52) | ○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、「カンボジアの学校の先生が自国が抱える問題や子供たちの生活、彼らが持っている夢などを紹介する」という内容で本文を構成した。——【第二号】 | ・p.45-51 |
| Unit 5 Dreams for the Future (p.53-62) | ○職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うよう、登場人物たちが「将来自分たちが就きたい職業について真剣に考える」という内容で本文を構成した。——【第二号・第三号】 | ・p.53-58 |
| Unit 6 Tina's Student News-Net (p.71-80) | ○自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うよう、「地球温暖化問題等に関する世界各国の取り組みをそれぞれの国の中学生が報告する」という内容で本文を構成した。まとめに当たる You Can Do It! では「環境についての資料を読み解く活動」を位置づけた。——【第四号】 | ・p.71-78 ・p.80 |
| Unit 7 The Last Concert (p.83-87) | ○真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うため、「アメリカに帰国する級友Tinaのために、登場人物たちが最後のコンサートを開く」という内容で本文を構成し、友情の大切さを訴えた。——【第一号】 | ・p.83-87 |
| | ○自他の敬愛と協力を重んじるとともに、豊かな情操と道徳心を培うため、まとめに当たる You Can Do It! では「友達や先生への感謝の手紙を書く活動」を位置づけた。——【第一号・第二号】 | ・p.88 |
| 付録 | ○幅広い知識と教養を身に付け、健やかな身体を養うため、 CLIL 1 「スポーツをもっと知ろう」では、保健体育との教科関連を図り、「スポーツの種類や意義について考える活動」を位置づけた。——【第一号】 | ・p.34-35 |
| | ○健やかな身体を養うとともに、主体的に社会に参画し、その発展に寄与する態度を養うため、 CLIL 2 「ICT 情報通信技術の発達と社会」では、「情報技術の発達とネット社会の問題点を考える活動」を位置づけた。——【第一号・第三号】 | ・p.90-91 |
| 巻末付録 | ○個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自立の精神を養うため、 Let's Read More では、1964年の東京オリンピックで最後までレースをあきらめなかったランナーのエピソード <i>The Runner Wearing Number 67</i> を位置づけた。——【第二号】 | ・p.108-109 |
| | ○伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに、自主及び自立の精神を養うため、 Let's Read More では、ジョン万次郎の伝記 <i>The Future Is Like the Ocean</i> を位置づけた。——【第二号・第五号】 | ・p.110-114 |
| | ○他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うため、「You've Got a Friend」など、複数の英語の歌を掲載した。——【第五号】 | ・p.115-116 |

Ⅳ. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1 英語学習の幅を広げるための配慮

■ 小学校からの円滑な接続

- 小学校での英語活動から中学校英語への接続が円滑に行われるように、1年の冒頭に、**Let's Enjoy English!** を入門期教材として置きました。小学校での標準的な学習内容を考慮し、音声を中心とした活動をしながら、文字にも無理なく親しんでいけるよう配慮しています。

■ 習熟度に応じた読み物教材

- 巻末付録に **Let's Read More** を用意し、生徒の知的好奇心や英語学習の意欲をより高いレベルで喚起できるよう、物語や科学、ノンフィクションなどさまざまな分野の読み物を掲載しました。

■ 文法・文構造の理解のための工夫

- 文法・文構造の理解のために、各学年の巻末付録に**英語のしくみ**を掲載しました。イラストを多用し、また必要に応じて関連する文法項目を学年横断的に扱うことで、生徒が知識を統合し俯瞰的に捉えられることを意図しました。

■ “英語で学ぶ”ことによる思考力・判断力・表現力の養成

- 付録 **CLIL 英語で学び、考えよう**では、技術・家庭、社会（地理、歴史、公民）、理科、保健体育など他教科の内容の一部を英語で学習することで、“英語を学ぶ”だけでなく、“英語で学ぶ”体験ができるようにしました。

■ 学習方法への配慮

- 付録 **Your Coach**では、進度に応じた学習方法の具体例や、英語学習の目的意識を喚起するための解説を掲載し、生徒がモチベーションをもちながら自律的に学習を継続できるよう配慮しています。

2 幅広い教育への配慮

■ 道徳教育との関連

- 本文のストーリーは、主人公たちが悩んだり、けんかをしたり、反省して仲直りしたり、別れに際して自分を振り返ったりするなど、中学生が実際に経験する人間同士のつながりについて考えさせる内容としました。

■ 国際理解教育への配慮

- 主人公の中学生がニューヨーク旅行を体験する“**Taku Gets Lost**”（2年）、カンボジアの教師が生徒たちに語りかける“**A Guest from Cambodia**”（3年）など、さまざまな国を舞台にした題材を設定しました。

■ 人権教育や福祉教育への配慮

- 2年 **Unit 2** “**Nick Helps a Dog**”, **Unit 6** “**A Therapy Dog**” で「セラピー犬」について題材で取り上げ、その意義や動物愛護の精神を扱いました。

■ 環境教育への配慮

- 3年 **Unit 6**では本文で地球温暖化問題やそれに対する各国での取り組みについて取り上げているほか、言語活動 **You Can Do It!** でいわゆる「仮想水」の問題を紹介し、食料や水問題などについて考えるトピックを扱いました。

■ 将来を考えるためのキャリア教育への配慮

- 自己表現活動の **Go for It!** で「職場体験の報告をしよう」（2年）を掲載し、生徒が職場体験から学んだことなどを英語でまとめて発表する機会を設けました。
- 本文では、音楽家を志す中学生の話“**Aya's Time in Okinawa**”（2年）、自分の夢や将来への展望について主人公たちが語る“**Dreams for the Future**”（3年）など、キャリア教育に配慮した題材を掲載しました。

■ 情報教育への配慮

- 3年付録では、「ICT 情報通信技術の発達と社会」と題して、社会科や理科の学習内容とも関連付けながら、情報通信技術全般に関する知識やそれを使う際の留意点について考えさせる教材を掲載しました。

■ 社会情勢の変化への対応

- 2011年の東日本大震災が我が国社会に与えた大きな影響に鑑み、読み物教材の中で、震災や防災に関する題材を扱いました。また、2020年に東京で開催予定の夏季五輪競技大会を念頭に置いた会話練習や読み物の教材を掲載しました。

編修趣意書

学習指導要領との対照表，配当授業時数表

| 受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|-----------|----------------|----------------------------------|----|---------|
| 26-9 | 中学校 | 外国語科 | 英語 | 1・2・3学年 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の番号・略称 | 教科書名 | | |
| 38 光村 | 英語 733 833 933 | COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE 1 2 3 | | |

I. 編修上特に意を用いた点や特色

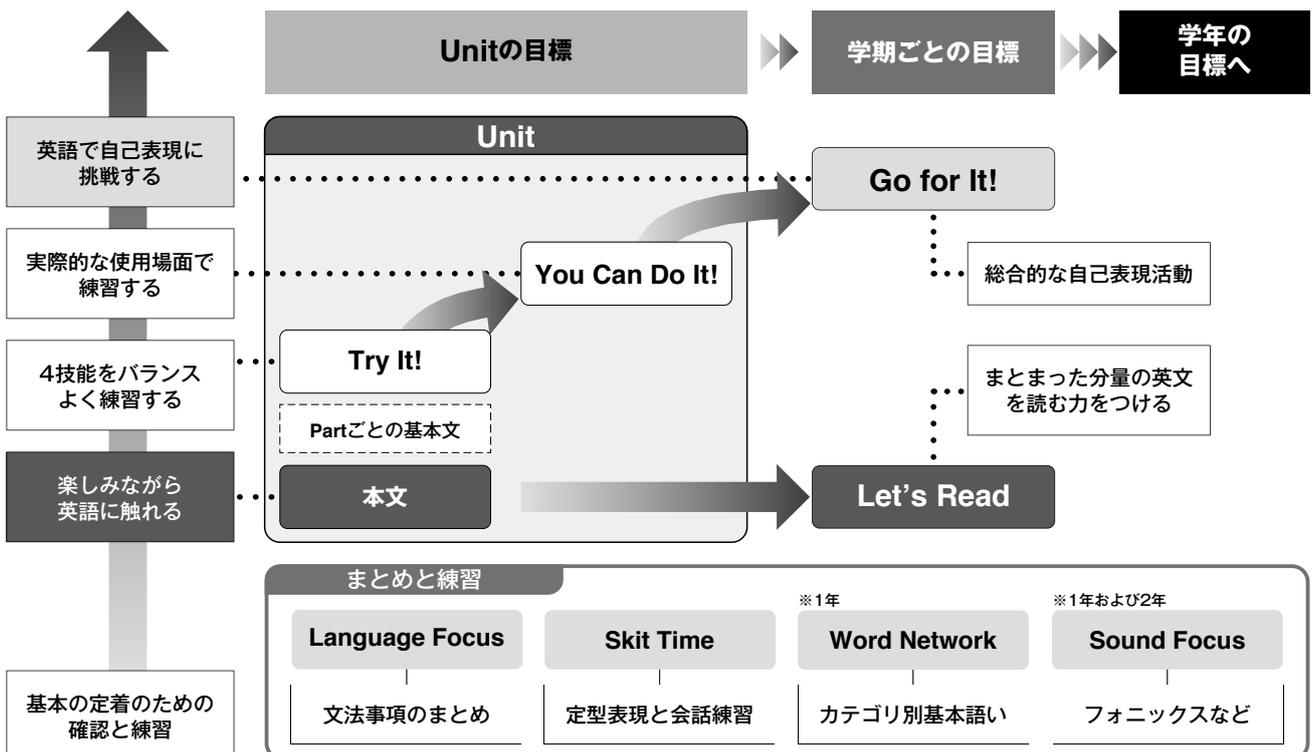
1 学習指導要領と教科書の関連

- 中学校英語の学習を通して，グローバル時代を生きる生徒たちが英語でのコミュニケーションの力をバランスよく養い，伸ばしていけるように，「英語の力も心も育つ教科書」を編修の基底に置き，基本方針を定めました。

2 全体の構成

- 基本となるUnitは，本文とTry It! で構成され，基本知識を習得しながら活用のための練習ができます。Unit のまとめの You Can Do It! では，実際の使用場面を想定した言語活動を通して，その Unit の到達目標を達成します。
- 各学期を目安に配したGo for It!とLet's Readでは，自己表現活動と，まとまった分量の英語を読む力を養います。
- Unit間には適宜まとめと練習のための教材を配置し，スパイラル的に基本知識の確認ができるようにしています。
- 付録には学習方法の紹介ページ，CLIL教材，発展的読み物などを配し，多様な学習ができるようにしています。
- 各Unitおよび自己表現活動のGo for It!には，4技能をバランスよく育成するための到達目標を設定しています。
 - 「Unit → 学期 → 学年 → 3年間」のステップで，到達目標を意識しながら学習が進められます。
 - 各学校で到達目標を設定し，「CAN-DOリスト」を作成する際の目安になります。

◆教科書全体の構成図



◆教科書の構成要素とその内容

| | | |
|----------------------|--|--|
| Let's Enjoy English! | 1年入門期教材：アルファベットの導入など、音声を中心に小学校外国語活動からの円滑な接続を図る。 | |
| Unit ※2～4パートで構成 | スモールステップで基本知識の習得と4技能の活用のための練習をし、Unitの到達目標を達成する。 | |
| | 扉 | 英文本文の内容に関連した図版とリスニングによる導入で、内容を大づかみにとらえる。 |
| | 本文 | 4人の中学生が様々なことを経験しながら成長していくストーリーを楽しみながら、自然な英語に触れるとともに、主に「読む」技能を養う。 |
| | Try It! | 基本文を利用したリスニングと口慣らしのドリルを含む言語活動で、4技能をバランスよく練習する。 |
| | You Can Do It! | Unitの学習内容をまとめ、到達目標=できることを明確にした複合的な言語活動を行う。 |
| Go for It! | それまでに学んだ4技能の力を総合的に使い、まとまった分量の自己表現を到達目標とした言語活動。 | |
| Let's Read | 物語や説明文など、さまざまな分野のまとまった分量のある読み物。 | |
| まとめと練習 | 4技能の運用を支える「語い」「文法」「音声」「慣用表現」を、Unit横断的にまとめながら定着を図る。 | |
| | Word Network ※1年 | カテゴリ毎に基本語いをイラストでまとめ、簡単な言語活動を通して確認する。 |
| | Language Focus | 既習の文法事項をUnit横断的に整理し、簡単な言語活動等を通して確認する。 |
| | Sound Focus ※1年および2年 | 特に1年生の段階で、音とつづりの関係（フォニックス）について活動を通して整理する。また、リズムやイントネーションなどについても、既習の言語材料を使いながら整理する。 |
| | Skit Time | 身近で具体的な場面を設定し、会話練習をしながらコミュニケーションに役立つ慣用表現を練習する。 |
| 付録 | Your Coach | 自律的学習者の育成のために、辞書の使い方も含め、英語の学習方法を紹介する。 |
| | CLIL 英語で学び、考えよう | 既習の文法事項・文構造の復習をしながら、技術・家庭、社会科、理科、保健体育など他教科の学習内容を英語で学び、英語学習の幅を広げる。 |
| | Word Square | 自己表現活動に役立つ、イラストを豊富に使ったピクチャーディクショナリーのページ。 |
| | Writing Fun | 英語で「カード」「メール」「手紙」を書けるようになるための実際的なガイド。 |
| 巻末付録 (主なもの) | Let's Read More | 習熟度に応じて、さらにまとまった分量の英文に触れる読み物教材。 |
| | 英語のしくみ | 豊富なイラストで、特に重要な文法事項をUnit横断的・学年横断的に解説。 |
| | 音声のまとめ ※1年 | 音とつづりの関係（フォニックス）や母音字・子音字の読み方等を整理し、練習する。 |
| | 符号の使い方 ※3年 | 英語の基本的な符号とその使い方を整理・確認する。 |

3 学習効果を高めるための工夫

[学習の方法と目的を意識させる]

- **Your Coach** のページでは、「辞書の使い方」「音読の仕方」「英文を読むコツ」「リスニングのコツ」などを親しみやすいイラストを用いて紹介し、生徒が英語学習の方法と目的を意識できるようにしました。

[英語学習の幅を広げる]

- **CLIL 英語で学び、考えよう**のページでは、技術・家庭、社会、理科、保健体育など他教科の内容の一部を英語で学習することで生徒の知的好奇心を喚起し、学習の幅を広げることができます。

[読み物教材の充実]

- 読み物教材**Let's Read**に加えて、習熟度に応じて物語や説明文を楽しみながら読むための**Let's Read More**を巻末付録に掲載しました。

[関連する教材ページへのリンク]

- 学習の流れをスムーズにするために、参照可能なページへのリンクを充実させました。
- 例えば文法や音声のまとめのページを参照しながら知識を確認したり、ピクチャーディクショナリーのページを見ながら言語活動の幅を広げたりすることができます。

例：▶▶▶ Language Focus 1 p. 32～p. 33 ▶▶▶ Word Square p. 66 ▶▶▶ Unit 5-1

Ⅱ. 対照表

- ・ 言語活動：L=Listening（聞く活動），S=Speaking（話す活動），R=Reading（読む活動），W=Writing（書く活動）
- ・ 構成：U=Unit, WN=Word Network, LF=Language Focus, ST=Skit Time, GO=Go for It!, SF=Sound Focus, LR=Let's Read, LRM=Let's Read More

1年

| 図書の構成・内容 | 箇所 | 学習指導要領の内容 | | | | | | 時数 |
|--|-----------|---------------|------------------|------------------|------------------|---|---------------------------------------|----|
| | | (1) 言語活動 | | | | (2) 主な言語材料 ○：音声 ▷：語い ▶：慣用表現 | (3) 言語活動の取り扱い ◆：言語の使用場面 ◇：言語の働き | |
| | | ア L | イ S | ウ R | エ W | | | |
| Let's Enjoy English! | p.4-17 | (ア)(イ) (ウ) | (ア) | (ア) | | アルファベット | ◇あいさつ | 8 |
| U1 Hi! 英語で文を書いてみよう | p.19-23 | (ア)(イ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (ウ) | I'm ~. | ◆自己紹介 ◇好きなことを言う | 4 |
| U2 At School | p.27-33 | (ア)(イ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) | (ア) | Are you ~? This is ~. / That's ~. | ◇あいさつ, 歓迎する, 紹介する | 5 |
| U3 The Teachers 身近な人のことを紹介しよう | p.35-42 | (ア)(イ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (エ) | She's [He's] ~. / Is she [he] ~? / She [He] isn't ~. / What's ~? | ◆学校での活動 ◇身近な人を紹介する | 8 |
| U4 On the Way Home クラスの友達が好きなことなどを調べよう | p.45-52 | (ア)(イ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | 一般動詞（肯定・疑問・否定文） | ◆友人との会話 ◇質問する, 褒める, 相づちを打つ | 8 |
| U5 A Summer Festival 英語の案内や指示を読んでみよう | p.59-66 | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ) | 命令文 Who's ~? How many ~? | ◆地域の行事 ◇提案する, 指示を伝える, 指示を理解する | 8 |
| U6 Breakfast Time 時刻や場所を聞き取ろう | p.69-76 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ) | What time ~? / Which do you ~, A or B? / Where ~? | ◆家庭での生活 ◇依頼する, 説明する | 8 |
| U7 Cheer Up, Tina 身近な人を紹介する文を読もう | p.79-86 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | 3人称単数現在（肯定・疑問・否定文） | ◆電話での応答 ◇説明する, 質問する | 8 |
| U8 Band Practice 必要な情報を聞き取って, 友達に伝えよう | p.97-104 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ) | 助動詞can（肯定・否定・疑問文） / When ~? | ◆校外活動（クラブ等の練習） ◇賛成・同意する, メモをとる | 8 |
| U9 Tina's School Life 届いたメールに返事を書こう | p.107-116 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | 現在進行形（肯定・否定・疑問文） / May I ~? | ◆学校での活動（スポーツ等） ◇説明する, 許可を求める | 9 |
| U10 Happy New Year お正月について話そう | p.121-128 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (エ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | 一般動詞の過去形（規則変化） | ◆家庭での生活（季節の行事） ◇質問する, 説明する | 7 |
| U11 Tina and Japan はがきを書こう | p.131-136 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | 一般動詞の過去形（不規則変化） | ◆学校での活動 ◇質問する, はがきを書く | 6 |
| WN1 1年間 <A year> | p.24 | (ア)(イ) | (ア)(イ) | | | ▷月と季節を表す語 | ◇説明する | 1 |
| WN2 日付 <Date> | p.25 | (ア)(イ) | (ア)(イ) | | | ▷序数 | ◇説明する, 質問する | 1 |
| WN3 気持ちや状態 <Feelings> | p.34 | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) | | | ▷気持ちや状態を表す形容詞 | ◇説明する, 質問する | 1 |
| WN4 家族 <Family> | p.44 | (ア)(イ) | (ア) | | | ▷家族を表す語 | ◇紹介する | 1 |
| WN5 1週間 <A Week> | p.56 | | | (ア) | (ア) | ▷曜日・教科を表す語 | ◆学校での活動 ◇説明する | 1 |
| WN6 町 <Town> | p.78 | | (ア)(イ) | | | ▷施設や場所等を表す語句 | ◆道案内 ◇説明する | 1 |
| WN7 体 <Body> | p.106 | (ア) | (ア)(イ) | | | ▷体の部分を表す語 | ◇指示する | 1 |
| WN8 休暇 <Vacation> | p.138 | | (ア)(イ) | | | ▷不規則動詞, 時間帯を表す語 | ◇説明する, 報告する | 1 |
| LF1 人や物事を説明する表現 | p.43 | | (ア) | (ア) | | 〔復習〕be動詞 | | 1 |
| LF2 動作や好き嫌いなどを説明する表現 | p.53 | | (ア) | (ア) | | 〔復習〕一般動詞（現在形） | | 1 |
| LF3 人や物事の代わりに使われる言葉 | p.67 | | (ア) | (ア) | | 〔復習〕人称・代名詞 | | 1 |
| LF4 第三者のことを説明する表現 | p.87 | | (ア) | (ア) | | 〔復習〕一般動詞（3人称・単数・現在） | | 1 |
| LF5 できること／していることの表現 | p.117 | | (ア) | (ア) | | 〔復習〕助動詞can・現在進行形 | | 1 |
| LF6 YesやNoで答えられない疑問表現 | p.129 | | (ア) | (ア) | | 〔復習〕疑問詞 | | 1 |
| LF7 過去のことを説明する表現 | p.137 | | (ア) | (ア) | | 〔復習〕一般動詞（過去形） | | 1 |
| ST1 ペット | p.68 | (ア)(ウ) | (ア) | (ア)(イ) | | ▶What kind of ~? | ◇質問する | 1 |
| ST2 電話 | p.77 | (ア)(ウ) | (ア) | (ア)(イ) | | ▶May I speak to ~? | ◆電話での応答 | 1 |
| ST3 落とし物 | p.96 | (ア)(ウ) | (ア) | (ア)(イ) | | ▶Whose-? | ◇質問する | 1 |
| ST4 買い物 | p.139 | (ア)(ウ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) | | ▶How much ~? | ◆買い物 ◇質問する | 1 |
| SF1 つづりと発音1 | p.57 | (ア) | (ア) | (ア) | | ○現代の標準的な発音 | | 1 |
| SF2 つづりと発音2 | p.105 | (ア) | (ア) | (ア) | | ○現代の標準的な発音 | | 1 |
| GO1 自己紹介をしよう | p.54 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (エ)(オ) | | ◆スピーチ ◇発表する | 3 |
| GO2 大切な人のことを紹介しよう | p.118 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (エ)(オ) | | ◆スピーチ ◇発表する | 3 |

| 図書の構成・内容 | 箇所 | 学習指導要領の内容 | | | | | | 時数 | |
|----------|-------------------------|-----------|--------|--------|---------------|--------------------------------------|---|----------------------------|-----|
| | | (1) 言語活動 | | | | (2) 主な言語材料 ○: 音声 ▶: 語い ▶: 慣用表現 | (3) 言語活動の取り扱い ◆: 言語の使用場面 ◇: 言語の働き | | |
| | | A L | I S | U R | E W | | | | |
| GO3 | ALT新聞を作ろう | p.140 | | (ア)(イ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | | ◆インタビュー, 新聞 ◇質問する, 説明する | 3 |
| LR1 | What Am I? | p.120 | | | (ア)(イ) (ウ) | | (既習事項の復習) | | 1 |
| LR2 | The Lion and the Mouse | p.142 | | | (ア)(イ) (ウ) | | (既習事項の復習) | | 2 |
| LRM | Tina's Japanese Lessons | p.144 | | | (ア)(イ) (ウ) | | | | (2) |

合計時数：120

2年

| 図書の構成・内容 | 箇所 | 学習指導要領の内容 | | | | | | 時数 | |
|----------|---------------------------------------|-----------|------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|---|--------------------------------|---|
| | | (1) 言語活動 | | | | (2) 主な言語材料 ○: 音声 ▶: 慣用表現 | (3) 言語活動の取り扱い ◆: 言語の使用場面 ◇: 言語の働き | | |
| | | A L | I S | U R | E W | | | | |
| U1 | Tina's Speech 休み中のことをスピーチしよう | p.5-12 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (エ)(オ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | 一般動詞の過去形(復習) / be動詞の過去形 | ◆学校での活動(スピーチ) ◇説明する, 報告する | 9 |
| U2 | Nick Helps a Dog まとまりのある文章を書こう | p.13-20 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | I think ~ / 過去進行形 / when 節 | ◆友人との会話, 日記 ◇説明する, 報告する | 8 |
| U3 | Plans for the Summer アナウンスを聞き取ろう | p.23-32 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (エ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | be going to ~ / 助動詞will | ◆旅行(機内アナウンス) ◇記録する, 質問する | 9 |
| U4 | Taku Gets Lost 自分の町の名所を紹介しよう | p.33-40 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (エ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | (ア)(イ) (エ)(オ) | There is [are] ~ / have to ~ | ◆校外活動(ブログ) ◇説明する, 描写する | 8 |
| U5 | Aya's Time in Okinawa 過去の体験について話そう | p.55-62 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | 動名詞 / because ~ / 不定詞 (名詞的用法) | ◆スピーチ ◇説明する, 発表する | 9 |
| U6 | A Therapy Dog ポスターを読もう | p.65-72 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | 不定詞(副詞的用法・形容詞 的用法) / 助動詞must | ◆校外活動(ポスター) ◇相手の行動を促す, 説明する | 8 |
| U7 | You Are the Problem 手紙やメールの返事を書こう | p.81-88 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | 形容詞・副詞の比較変化(-er, -est) / as ~ as ... | ◆校外活動(メール) ◇気持ちを伝える | 8 |
| U8 | Christmas Concert 音楽についての意見を交換しよう | p.91-98 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | 形容詞・副詞の比較変化(more, most) / S+V+O+O / look+形 容詞 | ◆校外活動(ブログ) ◇質問する, 賛成する・反対する | 8 |
| U9 | Goodbye, Min-ho 調べたことを発表しよう | p.111-118 | (ア)(イ) (エ)(オ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | 受け身 / if節 | ◆学校での活動(調べる) ◇発表する | 7 |
| LF1 | 過去のことを述べる表現 | p.21 | | (ア) | (ア) | | [復習] 過去形(一般動詞・be 動詞・過去進行形) | | 1 |
| LF2 | 現在・過去・未来のことを述 べる表現 | p.43 | | (ア) | (ア) | | [復習] 時制(現在形・過去 形・未来を表す表現) | | 1 |
| LF3 | to+動詞の原形 | p.74 | | (ア) | (ア) | | [復習] 不定詞 | | 1 |
| LF4 | 動詞の後にくる語句 | p.75 | | (ア) | (ア) | | [復習] 目的語 | | 1 |
| LF5 | 比べるときの表現 | p.100 | | (ア) | (ア) | | [復習] 比較表現 | | 1 |
| LF6 | 助動詞の表す意味と使い方 | p.101 | | (ア) | (ア) | | [復習] 助動詞 | | 1 |
| LF7 | 動作を受ける人やものを主 語にする表現 | p.119 | | (ア) | (ア) | | [復習] 受け身 | | 1 |
| ST1 | 道案内 | p.42 | (ア)(ウ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) | | ▶ Is there ~ around here? | ◆道案内 ◇質問する, 説明する | 1 |
| ST2 | 依頼 | p.64 | (ア)(ウ) (エ) | (ア)(イ) (エ) | (ア)(イ) | | ▶ Will you ~? / Can I-? | ◆学校での活動 ◇依頼する | 1 |
| ST3 | レストラン | p.73 | (ア)(ウ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) | | ▶ Shall I ~? | ◆レストランで食事 ◇注文する | 1 |
| ST4 | 買い物 | p.90 | (ア)(ウ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) | | ▶ Could you ~? | ◆買い物 ◇依頼する | 1 |
| ST5 | 体調 | p.123 | (ア)(ウ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) | | ▶ I have a headache. | ◇症状を言う, 相手を気遣う | 1 |
| SF1 | 強勢・リズムとイントネーショ ン | p.122 | (ア) | (ア) | | | ○語, 句, 文における基本的な 強勢 / 文とイントネーション | | 1 |
| GO1 | 旅のしおりを作ろう | p.46-47 | (ア)(イ) (オ) | | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (エ)(オ) | (既習事項の復習) | ◆旅行 ◇説明する | 3 |
| GO2 | 職場体験の報告をしよう | p.104-105 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (エ)(オ) | (既習事項の復習) | ◆スピーチ ◇報告する, 発表する | 3 |
| GO3 | 「私たちの町」を紹介しよう | p.120-121 | | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (エ)(オ) | (既習事項の復習) | ◆地域の名所・行事 ◇説明する, 発表する | 3 |
| LR1 | The Letter | p.50-54 | | | (ア)(イ) (ウ)(オ) | | (既習事項の復習) | | 5 |

| 図書の構成・内容 | 箇所 | 学習指導要領の内容 | | | | | | 時数 | |
|----------|-----------------------|-----------|--------|--------|-------------------------|------------------------------|---------------------------------------|----|-----|
| | | (1) 言語活動 | | | | (2) 主な言語材料 ○：音声 ▶：慣用表現 | (3) 言語活動の取り扱い ◆：言語の使用場面 ◇：言語の働き | | |
| | | ア L | イ S | ウ R | エ W | | | | |
| LR2 | Living with Robots | p.106-110 | | | (ア)(イ) (ウ)(オ) | | (既習事項の復習) | | 5 |
| LR3 | Bamboo Can Do! | p.125-129 | | | (ア)(イ) (ウ)(オ) | | (既習事項の復習) | | 5 |
| LRM | Your Pain Is Our Pain | p.130-132 | | | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | | | | (3) |

合計時数：111

3年

| 図書の構成・内容 | 箇所 | 学習指導要領の内容 | | | | | | 時数 | |
|----------|---|-----------|------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--|-------------------------------------|-----|
| | | (1) 言語活動 | | | | (2) 主な言語材料 ▶：慣用表現 | (3) 言語活動の取り扱い ◆：言語の使用場面 ◇：言語の働き | | |
| | | ア L | イ S | ウ R | エ W | | | | |
| U1 | Video Letter from Min-ho 自分の学校を紹介しよう | p.5-12 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | 受け身(復習) / S+V+O+C (C=形容詞) / tell+O+to ~ | ◆学校での活動 ◇紹介する | 9 |
| U2 | How Do They See Japan? インタビューを聞こう | p.13-22 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | 現在完了(継続・完了) | ◆インタビュー ◇説明する, 報告する | 10 |
| U3 | Our School Trip 経験したことをもとにスピーチしよう | p.23-30 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | 現在完了(経験) / It's - for ~ to ... | ◆旅行 ◆学校での活動 ◇説明する, 発表する | 9 |
| U4 | A Guest from Cambodia 資料を読み取って感じたことを伝えよう | p.45-52 | (ア)(イ) (オ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | 後置修飾(現在分詞・過去分詞) / 接触節 | ◆学校での活動 ◇発表する | 8 |
| U5 | Dreams for the Future 憧れの職業について説明しよう | p.53-62 | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | (ア)(イ) (エ)(オ) | 関係代名詞(that, which, who) | ◆学校での活動, 手紙 ◇説明する, 発表する | 10 |
| U6 | Tina's Student News-Net 環境についての資料を読み解こう | p.71-80 | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | 間接疑問文 / S+V+O+C (C=名詞) / S+V+疑問詞+to ~ / S+V+O+疑問詞+to ~ | ◆インターネット掲示板 ◇意見を言う | 11 |
| U7 | The Last Concert 自分の気持ちを伝える手紙を書こう | p.83-88 | (ア)(イ) (オ) | (ア) | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | (ア)(イ) (エ)(オ) | (既習事項の復習) | ◆校外活動, 手紙 ◇気持ちを伝える, 描写する | 6 |
| LF1 | 過去とのつながりで現在のことを述べる表現 | p.32-33 | | (ア) | (ア) | | [復習] 現在完了(継続・完了・経験) | | 2 |
| LF2 | 後ろから説明を加える表現 | p.64-65 | | (ア) | (ア) | | [復習] 後置修飾(現在分詞・過去分詞) / 接触節 / 関係代名詞(that, which, who) | | 2 |
| LF3 | 文と文をつなぐ言葉 | p.89 | | (ア) | (ア) | | [復習] 接続詞 | | 1 |
| ST1 | 電話 | p.63 | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) (エ) | (ア)(イ) | | ▶Would you like to leave a message? | ◆電話での応答 ◇依頼する | 1 |
| ST2 | 道案内 | p.82 | (ア)(イ) (ウ) | (ア)(イ) | (ア)(イ) | | ▶Could you tell me the way to ~? | ◆道案内 ◇依頼する, 質問する | 1 |
| GO1 | 修学旅行新聞を作ろう | p.36-37 | | | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (エ)(オ) | | ◆新聞 ◇報告する | 3 |
| GO2 | 給食と弁当どちらがいい? | p.92-93 | (ア)(イ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (ウ)(エ) | | ◆簡単なディベート活動 ◇賛成する・反対する ◇意見を言う | 3 |
| GO3 | 卒業文集を作ろう | p.100-101 | | | (ア)(イ) (ウ)(オ) | (ア)(イ) (エ)(オ) | | ◆学校での活動 ◇説明する, 気持ちを伝える | 3 |
| LR1 | Treasure Hunt | p.31 | | | (ア)(イ) (ウ)(エ) (オ) | (ア)(イ) (オ) | (既習事項の復習) | ◇説明する | 2 |
| LR2 | Visas for 6,000 Lives | p.39-44 | | | (ア)(イ) (ウ)(オ) | | (既習事項の復習) | | 6 |
| LR3 | The House That Jack Built | p.70 | | | (ア)(イ) (ウ) | | (既習事項の復習) | | 1 |
| LR4 | Changing the World | p.94-99 | | | (ア)(イ) (ウ)(オ) | | (既習事項の復習) | ◆スピーチ ◇発表する, 意見を述べる | 6 |
| LRM1 | No More Landmines | p.104-105 | | | (ア)(イ) (ウ)(オ) | | | | (4) |
| LRM2 | The Most Valuable 23 Minutes | p.106-107 | | | (ア)(イ) (ウ)(オ) | | | | (4) |
| LRM3 | The Runner Wearing Number 67 | p.108-109 | | | (ア)(イ) (ウ)(オ) | | | | (4) |
| LRM4 | The Future Is Like the Ocean | p.110-114 | | | (ア)(イ) (ウ)(オ) | | | | (6) |

合計時数：94